しいやかす。あざ笑う	しいや増桶、鍋、釜等を入れてはなめぇの北隣りで、味	しゅもぐる 格闘する	しゅもぎる(ふ参照) もぎとる	しゃむする ひきむしる	しいみずたがり	しいみずやがるやんに顔を合せる事をい	しいまだれ ひまつぶし	しいま離婚	しいぼ	しいぶぎあへえる雨が吹きこむ	しいびど(す、ふ参照)いろり(火ほどの転	しいびぎひび、われめ	しぃんび(す参照) ひび	しいっぱる(ふ参照)引っぱる、引く	しいっぱだぐ叩く	しいばず(す参照)火鉢
しぃらしぃらど〃	しいらからど早く、さっさと、直ちに	しいらおどす。鳥獣をとる罠の一種	しいよりっこ	しいよりあすだ。歯の低いあしだ	しいよびぎ塩ます	しいよ(す参照) 塩	しいやめすおず厄介者、居候	しいやねえしょうがない	しいやすぶり、久しぶり	しいやすぐ久しく	しいやす 庇、暮し、幸福	しいやすくしい	しいやしええ 財産家だ	しいやしえ幸福、富貴	しいやこのわ	しいやぐひしゃく
しいるするぐ痒みをとるため背骨を中心に廻すこと	しいるす(ふ参照) すりうすをかく、背中の	しいるしいなが まひる	しいろげる(ふ参照) ひろげる	しいる放る、乾く	しいり昼、昼食	しいらてえ 低く平なこと	しいらすび。昼休み	しいらすめ(す参照) 白統油	しいらざる平らなざる	しいらこ(き参照) 坂、傾斜地	しいらげる精白する	しいらげこめ神に供える白米	しいらげ(す参照) 白米	しいらぐ開く	しいらりど	しいらっと

じええ	じえで、これの意かを、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から、これの意から	ーしえ さえ(しょずしょあれば)	―しえよ(〃)〃 (念をおす)	―しえ(へ参照) もしぇ) しろ、やれ(しょずしぇ、	しえ瀬、急流	しいんと神官	しいんしょ(す参照) 身上、資産	しいわれる。 乾いて裂ける	しいろめがす おどおどする	しゅろ(こ) のびる	しいろ ひる	しいれ(す、ふ参照)広い	しいるめぐ 落着きのないさま	しいるまんま ク	しいるみす 昼飯	しいるま(す参照)昼
しえぎ敷居	しえがれ息子	しえか めぐ(へ参照) せかせか急ぐさま	しえかずさいかち	しえかしえか(〃) 空腹で疲れたさま	しょっか えだ(へ参照) 製板後の不用板しょ	じえらたがり /	じえら	じええらかかっている、又その人のどの啖が切れないで引	しええば(そ、へ参照) いえば	しええっぺえ精一杯	しぇれきる呼吸困難となる、難儀す	しえぎど石塔、石仏、墓石	しえうな(・/)いうな	しえら(て、ゑ)(そ、へ参照)いう、つげる	― じえ ―よ(えぐじぇ)、―では ―という由(そだずじぇ)	じえじえ
しえずだねえへくこそれではない	しえずだ(す、そ、へ、ほ参照)それだ	しえずすか(す参照)それですか(敬語)	しえずぐ(がねぇ、げ) くする (がねぇ、げ) 催促する、 うるさ	しえず(が)(ほ参照) それか	じえい ぜひ	しえしえんげつ 先々月	しえごま(ク)まめに、一心に、休なし	しょっこぼ(ヘ参照) せむし	じえごたろ 田舎者	しょっこぐ (ざげ、)(/) 骨をおしむ	しえこぎ(ヘ参照) 不精者、骨を惜しむ者	じえご(す参照) 在郷、田舎	しえぐな(ヘ参照) 急ぐな	しえぐ(がねぇ、げ)(へ参照) 急ぐ	しえぎ	しえぎ(ヘ参照) 堰

しえり(へ参照) せり	旧正月に神前に供えた餄	じえねあめ	しえで急いで
じえらめぐのどがえらえらする	銭(じぇねこけろでぁ)	じえた(こ)	しえつペ(ヘ参照)女の陰部、性交
しえめる(ねょ、ろ)(へ参照) 攻める	しえにす(へ参照)背おわせる	しえにすへ	しえつぱつまるどんずまり、きわまる
しえめでしいて	方が下手だとの意手製のそばが太すぎ切り	じぇながす	じえつてえ絶対、どうしても
しぇぼね(^参照) 背骨	で(け、へ参照)背中当て	しえながあで(け、〈参照)	しえったぐれ には者
しえふ(す参照)財布	(〃) 背中	しえなが	しえつぐ精がつく
しえびるせびる	(〃)瀬戸物	しえどもの	しえつかぐ折角
しぇばんただぎ 料理人		しえんころ	しょっちょへえだ(/))))))) かった、つか
しえばるこ(/) /	(〃) 先日、先き頃	したんどな	しょっちょはぐ(ク) ずれる、くた
しょっぱり(〃) 猫背の人	(/) いっていた	したってら	しえでも(〃)〃
しえべえ(り)り	えでける(ら、ろ)(~)入れてやる	しえでける(しえだども(/) それでも
しえばつねえ、クンク	しょってける(ら、ろ)(ク)いってやる	しぇってける	しえだたて(/) だろうけれども
しえばけ(へ参照)狭い		しえでくねえ(〃)	しえだだす(〈参照) それだから
しえばん(す参照) 爼板	へ(〃) 入れて下さい	しえでぐじえ(^)	しえんだぐしいま。女子の休日
―しえば(ヘ参照) ―すると、―すれば	文(1)1	したってくねえ(り)	しえんだぐすすさえぐ=嫁が実家に帰するとです。
しえのぎせんの木	しぇって ぐ じえ(へ参照) いって下さい	しれってぐじ	しえだべく クン 衣服(きりめえ参照)
じえねたやすむだ遣い、浪費	しえでぐ(ち、へ参照) つれて行く	しえでぐ(ち、	しえずねえ(へ参照)つらい・

じえんじえ 小児のいう金銭	じえんこお金	じえんこ膳	しえんこ線香	しえんきやむいらぬ心配をする	しえわれね(る)(〃) いわれない	しえわねえ、そ、〈参照)いわない	しえわすのう(ハ)ハ	しえわすねえへしせわしいなあ	しえわす(〃) 世話する	しえわす(へ参照) せわしい	じえわじえわ 無理にはがした時の音	しえろ(へ参照) 籾を貯蔵する木のわく	しえれる(な、ね*)(〃) 出来る	しえる(ねないろ)(ク)入れる	しえりさぶき(〈参照) 百日咳
しゃっけ	しゃぐなさくな	しゃぐす しゃもじ、農具の鉄の杓	しゃぐがね 大工用の曲り金(ものさ	しゃぐ	しゃきっとす 姿勢を正しくする	しゃがん(さ参照) 左官	じゃあじゃじゃじゃじゃった事になってこれはこれは困	じゃあじゃじゃ さあ困った	じゃあじゃあ まあまあ、まずまず	じやあびっくりした時に発する	一じや しろよ)	しえんべせんべい	しえん ぶく ちょ 仙北町 じえんぶ 非常に、甚だ	しえんに早くに、ずっと以前に	しえんずり(かぐ) 手淫(する)せんずり
じゃどおにかこ。	じゃど(ほ参照) 座頭	しゃで弟	しゃりむり	しやりがむり	しゃつむり(く参照)	しゃっぷ(ほ参照) 帽	しゃつかにず 百ヵ	じゃすぎ(さ参照) 中	しゃずぎ 桟敷	しやず	しやず	しゃす(さ参照) もの	じゃじゃで夫な	じゃしぃあば	しやっこい冷い
まえる鬼ごっこ鬼がめかくししてつか一定の範囲をきめて、	頭、盲人		"	"	無理に	帽子	カ日	座敷	**************************************	L	₹ €	ものさし	転じたものかところからいま、中年以上の婦人、母、妻、中年以上の婦人、	はた	· · ·

501	生姜	UU よん が▲	"	じょぅえ	笊	じゃる
	ねえ 行商人	しょえこあぎねぇ	常居、上居	じょい	しゃる(らねぇ、れ)去る、這入る	しやる(らねぇ)
	草履	じじょょうり	参照) もぎとる	しゅもぎる(ふ参照) もぎとる	照) おたまじゃくし	じゃらご(き参照)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	地面をたたく遊び石月の節句の時菖蒲を束	しょうぶうず	里帰り	しゅどれい	、だ、で、ろ)をわむれる	じゃれる(ねょ、だ、で、ろ)
	のふんだんなこと 十分、丈夫、湯又は水等	じょうぶ	舅殿	しゅどど	じゃれる	じゃらける
	うぶ 早祖女、花しょ早乙女、田植女、花しょ	しょうどめ	濁酒とりしまり役人	しゅぜん	いうな、子供の小言にも	じゃみる
	接待	UUょう でえ	珠数玉	じゅすだま		しゃみしえん
	精進、服忌	しょうずん	え、熟す	じゅぐれる(ねぇ)熟す	三味線	しゃみ
-	目に合う	しようこり	十九	じゅく	さま(あのじゃまだ)	じやま
	"	じょのぐず	祝儀、婚礼	しゅぎ	スコップ	しゃぶる
	門口	じょうぐず	十文字	じゅむず	いう、口数多い	しゃべる
	"	しょうががみ	め四つ辻	じゅうもんずめ四つ辻	0参照)論争、訴訟	しゃべこど(さ参照)
	腸チフス	しようがん	えごま油	じゅうね	咳	しゃぶぎ
	ん)背おう	しょう(え、わねぇ)	げぇしゅ=若衆)	Ī	座布団	じゃびど
	,	じょや	の下につける、大ぜい、同輩、又は目下の者の名	 	さび	しゃび(る)
***************************************	,	じょうやいた	じゃわめぐ(さ参照) さむけがする	じゃわめぐ(さ	じゃばける(お参照) ふざける	じゃばける(だ
	多分、定めし、てっきり	じょいえ	がいこつ	しゃれこべ	しかたがない	しやねえ

しょすおめ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	じょすえねえ油断なし、ぬけめがない	じょすえする(る) 油断する	じょずお世辞、上手	しょず障子	しよす 恥かしい	じょんじょどし しかにもて しっかりしろ、気をた	じょさねえ 簡単だ	じょつくど	じょくっと(そ参照) 全部、整然たるさま	しょでっぺ	しょでから(〃) 〃	しょで(そ参照) ク	しょぱすめ	しょっきり(お、そ参照)初め、最初	しょぎ焼酎	しょんがず
しょなす。この性のない者	しょでだず 先頭の人達	しょぽねわり 性質が悪い	しょ ぽね(と参照) 悪い意味の根性	しょ べえなす 何のおかまいもしないで	しょっぺえなす塩辛いね	しょっぺえ(そ参照) 塩辛い	じょ ぱる(ヮた、れ)(そ参照) 意地を張る	じょっぱりこ 意地張り子、しつこい子	しょ ぱだり(そ参照) つこい野郎しょっぱだり(そ参照) 意地張り野郎、し	じょっこ 竹馬	しょんただ(な) 妙だ	じょずだ 上手だ	しょすだ 恥かしい、きまりが悪い	じょんずこ(もの) お世辞や	しょすがる 恥かしがる	しょすがらねえ、恥かしがらない
ずら(あ、お、し参照) 祖父	する(すぇずす=それを	すを表す(ずさます)		उ		じょろべ 砂めぐり	しょり(そ参照)そり	じょやもの案の定	じょやぐうま、牝馬、雑役用の馬	じょみず米のとぎ水、雑水	しょべえにん 商売人	しょんべつぼ・小便つぼ	しょべたが て小便用に使用する 小便運搬のおけ、固定し	しょんべ(そ参照)小便	しょぶつけだをした、大儲けをした	しょんなふと妙な人

すえぎ▲	ずえ	すえ		ずららり	すらもの	ずず らいら	すあとる	すあしえ	すあがり	―ず(と参照)	ず	ずっしゅ	ずつこけ	ずちゃ	ずさま	ずし
出入口のかまち	水面に張った氷	もよ) (すぇずすぇあればえど	飯の菜、おかず、さえすまた)	無断で(ずっらりどえてずらり、つらなり並ぶ、	吸物	遠くへ、知らぬ顔して、	がからになる根菜類に水分が不足し中	幸福、財産(すあしぇえ)	出来あがり	えてきたず、えらねぇず)ーそうなそうだ(えぐず、	"	" (")	ク(卑称)	"	"	祖父 -
 す が	ーすか	ずおりずおり	ずおり	すおじょつぺえ	ーずお	すえんしょ(さ参照)	すえもの	すえら・・	すえばん(〃)	すえずばり()	すえずず	すえずえ	すえず(し、そ、へ、ほ参照)	ずえご たろ(〃)	ずえごしゆ(〃) 在郷衆	ずえご(し参照)
ーするか(すぇずすが)	ーですか(そだすか)	しなやか	もの土地から出来る木綿	え 塩からい	ーそうなそうだ	参照) 山椒	菜物)財布) まないた	すえずばり(し参照) そればかり	水槌	精々	、、、ほ参照) それ	// /) 在郷衆	在郷
すかへ	すがはる	すがばすら	ず が 本 ね	ずがに	すがだねえご	すかだねえ	すがすべり	すがす	すかしれる(だで、)	すかしぇべが	すかしたねえよ	すかげ	すかぎ(し、ふた	すかがみ	すが <u>かっ</u> こ	すが
知らせ	氷がはる	霜柱	本性	直接に、直ちに	ごどすた てしまった	仕様がない	氷すべり	東	れる)知らせる、きかせるで、	知らせようか	すか きかせませんか	仕掛、構造、妾	(参照) 十能	ひかがみ	"	にはった氷田や道路等のくぼんだ所

すぎぐす	すぎがらえる	ずぎ	ずぎ▲	すぎ	すかんこ	すがわり	ずがり	すがり	すからまる	すからびだ	すからげる	ずかよう(は参照)	すかめる	ずかめぐ	ずかほき(つ参	すかへる(てん
ひきぐし	好まれる	肥料、時	すにきたじょ)	直ちに、すぐに	すい葉	豌豆、氷を割ること	れだ)	脚長蜂	からまる	ひからびた	裾をはしょる	照) 自家用	しかめる	"	ほき(つ参照) ちかちがちする、半煮で	すかへる(なべらかる) 知らせる
すぐずれた	ずぐあねえ	ずぐ	すぎわだ	すっきれる	すぎらがす	すきらがす	ずぎょう(もる)	ずぎんこ	ずぎのぬ	すぎでねえ	ずぎため	ずぎたが	すぎずる	ずぎす(となれ、	すぎげえす	ずぎくみり
失敗した	勇気がない	胆力	まわた	すり切れる	すきまをつくる	すりきらす) 敷地をつくる	"	のみを出す 婦人用の防寒用頭巾で目	好でない	異動不可能の肥溜	肥料桶	引きずる	ずぎす(して、しぇ) おじぎする、遠慮する、	塵紙、漉返し	盛岡よりの肥料くみ
すぐる	だだっ	ずず ん ぐ り	すくるこく	ずぐぬがす	すぐと	すくど	ずぐり	ずくつと	すびたれ	ずぐぼ	ずぐなす	ずぐたれ	すぐむ	すぐだまる(こ	すぐれだ(らね	すくった
さらう、とる	、れで とじる といた、らねぇ という	独楽、太って背の低い人	と手間どる。あれこれ	尻ごみする	すでに	落着いて静かに	"	ざくりと、ぶつりと	"	"	"	勇気なく臆病者	"	(った、) する、竦む (った、) 身をちぢめる、恐縮	ねた) 1	失敗した

すたおび(こ参照)	すだ▲	すた	すた	すそやめえ	・すそがじぇ	すすんげぇ	ずすんがす	すずる	すずやけえ(や参照)	すずめこ	ずすらずすら	ずすめぐ	すずむずがす	ずんつど	ずずど	すずつる(し参照)
照)褌	済んだ	舌	る藁や紙などの細片 壁をぬる時つなぎに入れ	婦人病	産褥熱	仕放だい	地震でゆれる	渗透する	参照) 厄介千万	雀、小児の陰茎	"	ひきずるさま	難しい	"	ずんずんと	照) ひじ
すたでも	すたてがも	すたたでがも	すたたて	ずだめぐ	ずだずだず	するこ	する	すたずこ	すたけえ	すったぐる	すたくたねえ	オカカ	ころう	すたがら	ーすだが	ー すたが
"	"	"	それでも	"	しめっぽい		1、そる	汁	そうしたところが	すりむく	わけがわからない	下の方から中にもかかわらず)	すたがら=いっている最にもかかわらず(へてる	それだから	すんだか、終ったか	ーそうしたか
すたらば	すったら	すたもの	すためぐ(つ参	すだみ(し、ま参照) どんぐり	ずたまご	ずだま	すだべ	すたべ	すたふぎ(そ参照)	すたは	すだでなねえ	すたでえ	すたでい	ずたっと	すたどもがすら	すたでも
	それならば	古物をいうなして差額を支払うその	新品購入の祭古物をねぶつ参照) うるさく立廻る	ハ照) どんぐり	"	地卵	すんだろう	そうしたろう	照)雑巾	ならば、そうしたとうであれば、そうした		下台(地名)	下座敷	さまいつも、継続する	6 /	,

すったりはった	すべたり(つ参		すっこどすて	すっこどしえ	すっこぐる	すっこ	ずっかり	すっかり	すっかど	すっかげる(し	すちゃくちゃな	すっちゃがます	すたれば	すだれ	すだらがす
たり 辛うじて、漸く			ろ 〃	静かにせ(おだだないで)	こすりつける	小水(すっこしっけぇろ)	格段	残りなく、正確	しっかりと	参照)ながらふりかける、放尿し	なぐす 滅茶減茶にする、	え 騒がしい	そうしたら	しまりのない人	ぬれたものの水をきる
すてタ(1)	すんで(し参照)	すて	すっぱ	すっぺはる	すっぺさがり	ずつぺえ	すつぺえ	ずっぱり	すっぱまぐる	ずっぱど	すぺぇこ	すぱこ	すすっぱしこ	すすっぱい	すってこてん
額	ひどい、全く、一向に	素手、手ぶら	尾	つけて他人の手を打つ右中指をしなわせ反動を左中指で右中指を支え乍	眉毛の両端の下った者	ずるい	すっぱい	腹一杯、沢山	しっかり滅入ること	沢山に	"	"	最後、おしまい	まな出すこと、素膚の	全部、きれいさっぱり
すとで	すどた	ずどめぐ	ずどずど	ずどしゃ	すどげ	ずど	すど	ずすてんと	ーすてら	ーすてら	すてごじえ	すてける(ねぇ	すてかがり	ずでえ	すでえ
すてる出口水口から入れた灌漑水を	すが通っている	"	じめじめ、しめっぽい	自動車	もみじ草	地頭、家主、地主	排泄口すると、最後の田の水の	ずってんどう	―するといっている	てら)	(敬語)	、ろ)そしてやる	も、なお続行すること負ける事がわかっていて	ようがない 絶対、一向に、手のつけ	次第
	すてえ(/) 額 すとで	辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 すとでにかい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すどた	辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 すとででら) 平手でたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すどたでら) 平手でたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すどめぐ めから終りまで、少 すて	辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 すとで にのう。 (ずったりえがね すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど あぐいがい から終りまで、少 すて 素手、手ぶら ずどめぐ ずどめぐ すっぽ すっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ まっぽ ま	り 辛うじて、漸く すてえ(*) 額 すちじて、漸く すっぱ 大田・北では、おだだないで) すっぱ 本田・北では、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	つたり 辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 すとでったり 辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 するがり 眉毛の両端の下った者 すどげ すったり 辛うじて、漸く すてえ(〃) 額 ひどい、全く、一向に すど が すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど が が から終りまで、少 すっぱ 尾 ずど ずど が ずど がく た時の音 すでたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど だ ずど がく すてら(〃) 額	りはったり 辛うじて、漸く すてえへ と がり 間毛の両端の下った者 すどしゃ り(つ参照) しも (ずったりえがねた時の音 すで(し参照) ひどい、全く、一向に すど前とあぐ、かどい、全く、一向に りはったり 辛うじて、漸く すてえへ と がり 調毛の両端の下った者 ずどあぐ りはったり 辛うじて、漸く すて えて の) 瀬とい、全く、一向に すど前とあぐ りはったり 辛うじて、漸く すてえへ の) 額 ひどい、全く、一向に すどあぐ	り 格段 すつべえ すっぺえ すっぱい すどけ い水(すっこしっけぇろ) すっぺさがり 眉毛の両端の下った者 すどげ どしえ 静かにせ(おだだないで) すっぺはる た中指で右中指をしなわせ反動を すどげ とすてろ のいまでらりでありまで、少り(つ参照) しも (ずったりえがねたたりえがねた時の音となった) するい すどずど り(つ参照) しも (ずったりえがねたたいまないとい、全く、一向にたけったりを打った時の音を打った。 すどずどがでし参照) ひどい、全く、一向にまとずどもですどもでもいまない。 すどあぐりはったり 辛うじて、漸くまるい。	はったり 辛うじて、漸く すてえ(*/) 額	はったり 辛うじて、漸く すてえ(^) 額 でにと デラじて、漸く すてえ(^) 額 でにと いかりと すっぱまぐる しっかり滅入ること ーすてら はったり 辛うじて、漸く すっぱい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がと すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がと すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がと がら 辛うじて、漸く すてえ(^) 額 から終りまで、少 すっぱ	る(し参照) ひっかける、放尿し ずっぱど 沢山に ーすてら しっかりと すっぱん すっぱり 腹一杯、沢山 ずでんと みりなく、正確 ずっぺえ すっぱり 腹一杯、沢山 ずでんと すっぱり すっぺえ ずるい すっぱら ずっぱる ちっぱい すっぺさがり 眉毛の両端の下った者 すどげ までら かいにせ(おだだないで) すっぺはる 右中指をしなわせ反動を ずどしゃ すっぱら (ずったりえがね た時の音 た時の音 すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど でと でく かめから終りまで、少 すっぽ 尾 ずっぱら 平手でたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど で ど が すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど で がと あく でしき の から終りまで、少 すっぽ と で でしき で ない までら で で で で で で で で で で で で で で で で で で	はつたり 辛うじて、漸く すてえ(/) 額 すてこじえ ちゃなぐす 財産をなくす。 すべえこ / すてごじえ ちゃなぐす 財産をなくす。 すっぱど 沢山に ーすてら しっかりを かいら かりまで、少 すっぱら 平手でたたい すんで(し参照) しゅ (ずったりえがね た時の音 たいり でした かり よでら) 平手でたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がったり そうじて、漸く すてえ(/) 額 から 終りまで、少 すてでしを かいら そうじて、漸く すて すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がと がら から 終りまで、少 すっぱい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど がと がと がく でした かり そうじて、漸く すてえ(/) 額 すて まで がと がと がら から 終りまで、少 すて はる から がら がり に	すてける(ね************************************	マール マー	しまりのない人 すっぱげ すねを出すこと、素膚の ずでえ すっぱこ 最後、おしまい すてける(ねょよ ます 騒がしい すがはこ / すべえこ / すてける(ねょよ ます 騒がしい すがらぶりかける すっぱど 沢山に カルボ(すっこしっけょる) ずっぱど 沢山に カルボ(すっこしっけょる) ずっぺさがり 眉毛の両端の下った者 すどげ た中指で右中指を支え乍 すっぱら (ずったりえがね すっぱる ね中指をしなわせ反動を すどげ たりの音 半手でたたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すどおど すったり 辛うじて、漸く すてえ(/) 額 から終りまで、少 すて すっぱい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど すとで すったり そうじて、漸く すてえ(/) 額 かどい、全く、一向に すど が と す でえ がり 音でなたい すんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど が と で すど が でえ がり 音を で かけて他人の手を打つ すど がっかい かんで(し参照) ひどい、全く、一向に すど が と で す と で か す と で す と で か す と で で か す と で と で か す と で か す と で か す と で す と で か す か す と で か す と で か す と で か す と で か す と で か す と で か す と で か す と で か す と で か を か す と で か す と で か す と で か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と で か す か す と か す か す か す か す か す か か す か す

すなでえ	すなっぺえ	すなっぱ	すなつぐり	すなだ(し参照)	ずなす	すなご	すなくしえ(し	すすんな	すな	すとんけやす	すとんけ	すどる	ずどり	ずとり	ーずども
してはいけない	しまどじょう	砂原	おしゃれ) 日当りのところ	程度を越して大きい	やさしい	参照) 物のくすぶる臭い	するな	しいな(粃)	いもまぬけ野郎	まぬけ	すが通る	相撲勝負前のけいこ	土産の混血鶏	ーというけれども -
ずねも	ずねらぐね	すねがあから	すねえ	すぬ(なねぇ、ね	すにめ	すにすにどや	すにげえり	ずなりずなり	ずなり	すなもの	ずなめぐ	すなべる	すなびる	すなびける	ーすなに
自然のいも	ぐずぐずするさま	脛	がよい、特ちからない、持ちがよい、切れ難いが強い、切れ難い		臨終	む 急性の病気で死にそう	生する一度仮死状態に入って蘇		まま習慣となる、そのなり行きに任せる、その	品物、男女の性器	しなやかで切れないこと	すべる	乾いて小さくなる	ちぢむ	行く途中に) ―途中に(いぎすなに=
すばらぐ	すっぱねつ参照	ずばだ	ずはだ	すぱずぐ	すばずつ	すばすてし参照	すっぱしょり(すっぱさみつっ	すばぐら(つ参	すぱこ	すば	すば	すのる	すのは	す ぬ の ぎ▲
しばらく	恋) 着物の裾にはね上がった	げる)がおとすこと(ずばだからなおとすこと(ずばだか	長等と17.8~春となげて長地膚	けとばす	火鉢) 火箸	〃)裾をまくりあげる	参照) 尻からげ、裾	(照) つばめ	"	尾	柴、むち	身になるしなやかにたわむ、その	しその葉	篠木
	してはいけない ずねも 自然のいも すばらぐ	してはいけない ずねも 自然のいも すばらぐ ではないしまどじょう ずねくね ぐずぐずするさま すっぱね(つ参照	してはいけない ずねも 自然のいも すばらぐ しまどじょう ずねくね ぐずぐずするさま すっぱね(つ参照すれ)から 脛 ずばだ	り おしゃれ ずねも 自然のいも すばらぐ ですぐずするさま すっぱね(つ参照) ない かよい 特ち ずはだ ずはだ かよい 神々死にきれない、持ち ずはだ ずばだ かまい はん (神々死にきれない、持ち ずはだ すなから 歴 はん (カルガル・ しょれ難い はれ難い すばだ はん (カルガル・ しょれ難い はれ難い はれ難い がよい (カルガル・ しょれ難い がよい (カルガル・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	り おしゃれ すねら 自然のいも すばらぐ かいり おしゃれ すねから 脛 すっぱね(つ参照) 日当りのところ すねから 脛 すっぱね(つ参照) すねから 脛 ずばだ がよい がよい がよい がよい がよい がよい すばだ ずばだ がまかい から から から から がらい ではだ すっぱね(つ参照) 日当りのところ すねから アルス しまどじょう ではだ すねから アルス しまどじょう ではずぐ まねから アルス しまどじょう ではずぐ から はいけない すねから アルス しまどじょう ではずぐ から はいけない すねから ところ すばらぐ すねから してはいけない すねず できれない 切れ難い すばずぐ まい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう はいけない すばらぐ まい しょうしょう しょうしょう はい しょう はい しょう はい から しょう はい	え してはいけない ずねも 自然のいも すばらぐ でり おしゃれ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずはだ すねから 脛 すねがら 脛 すねがら 脛 すながなら だまい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよ	え してはいけない ずねも 自然のいも すばず(し参照) た しまどじょう ずねくれ ですぐずするさま すっぱね(つ参照) た しまどじょう ずねくれ がよい ずはずぐののところ すねべんの表現して大きい ずはずぐのよれない、持ち ずばずぐのよれない、持ち ずばずぐのよれない、持ち ずばだ ずばずぐのところ ずばずくのところ ずはだ ずばずくのところ ずばずくのところ ずはずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのところ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ すいばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ ずばずくのといころ すいばずくのといころ すいばずでがあるいころ すいばずくのといころ すいばずくのといころ </td <td>しえ(し参照) 火の気の臭いがする すにげえり 一度仮死状態に入って蘇 すっぱしょり(たお) ところ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばず(へ) を照) 日当りのところ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばず(へ) でり おしゃれ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばだ すねから 脛 すねから だまい がよい ずはだ ずはだ ずながなら しまどじょう ずねくね でずぐずするさま すっぱね(つ参照) しまどじょう ずねめぐ すねから だまい かよい がよい ずはだ ずばだ すねから からいも すながない おも でずぐずするさま すっぱね(つ参照) しまどじょう ではしょり(からの臭いがする) ですべきれない、持ち ずばだ でり おしゃれ すねから だまい かられない、持ち ずばだ ですながなら からいも すばらぐ すばらぐ すばらぐ また しまどじょう からいも からいも からいも すびらぐ からに入って蘇 すっぱね(つ参照) からいり からいり からいり からいり からいり からいり からいり からいり</td> <td>しえ(し参照) 外の気の臭いがする すにげえり 生する にがえり なまけるさま、しなやか すっぱさみ(つもで) をさしい すにすにどやむ に病む すばず(/) 程度を越して大きい すねえ すねん</td> <td>しいな(批) ずなり なり行きに任せる、その すばぐら(つ参照) 日当りのところ すにげえり 生する かよい すっぱしょり(シション・マンション・アンシーン・マンション・アン・マンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・</td> <td> すなもの 品物、男女の性器 すばらぐ するな</td> <td>けや まいも まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すばこりえ(し参照) 外の気の臭いがする すにげえり なまけるさま、しなやか すっぱしより(シを照) 外の気の臭いがする すにげえり 生する たり行きに任せる、その すばぐら(つをでり おしゃれ すねえ すねがら 監終 すると すない すねんな がよい 持ち ずばだ すねがら がよい すねしゃれ すねから がよい ずねめぐ すねがら がよい すばだ ずねがら がよい すばだ ずねめぐ すばずく すばがく すばがく すばがく すながより からいも するさま すっぱね(つ参照) しまどじょう すねがら がよい おも 自然のいも すばだ ずはだ ずねらぐ すねがら がよい おも 自然のいも すばらぐ すばらぐ すねらく すねらく すばがら がよい からい すばだ がよい からい すない するさま すっぱね(つ参照) からい からい もん からい からい もん からい すない からい すない するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱん できに するさま すっぱね(つ参照) すると してはいけない すると してはいけない まま できる はんしゃん するさま しなやか すっぱらぐ するがよい はん しょうに しょうに しゃん しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく</td> <td> すが通る すなべる すべる すばに すばに すばに すが通る すないる すべる すばに すばに すが通る すないる すべる すばに すが通る すないる すべる すがしまりに するな すなりずなり なまけるさま、しなやか すっぱこみ(つぬするなり) 中をしい すなりずなり なまけるさま、しなやか すっぱこみ(つぬやこし) 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる で死にそう すばず(し参照) 中のところ すねから 座の を性の病気で死にそう すばずぐ すながら ですが通い、切れ難い すねから がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がまが がま</td> <td> 相撲勝負前のけいこ すなびる 乾いて小さくなる すば すが通る すなびる 乾いて小さくなる すば すが通る すないも まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すば した(し参照) 物のくすぶる臭い すにずにどやむ に病む をきしい なりできに任せる、その すば でり おしゃれ ではったと すぬ(なねぇ、ね) 死ぬ をするま、したやか すっぱしょり(でり おしゃれ すね) なり ではでがたり ではず(し参照) をきしい すね) では ではず(し参照) でり おしゃれ すね) でも でがよい、持ち すばず(し参照) ですは ですながよい では では では ですながよい ですながよい では では では では ですな ですな</td> <td> 上産の混血鶏 すなびける ちぢむ すのは すが通る すなびる 乾いて小さくなる すば すなが通る すながる すながる すながる すなが であいて小さくなる すば であいな (社) まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すば でもしいな (社) すなもの 品物、男女の性器 すば でもしいな (社) では では でもしい でもしい では でもしい では でもしい でもしい では でもしい でもしい では でもしゃれ でもしい では でもしょどじょう では でもしい では でもしょどじょう では でも他の病気で死にそう ではず(こを照) でもしゃれ では でもしょい では では でもしょど では では でもしょど では では でもしょど では では では では では では では で</td>	しえ(し参照) 火の気の臭いがする すにげえり 一度仮死状態に入って蘇 すっぱしょり(たお) ところ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばず(へ) を照) 日当りのところ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばず(へ) でり おしゃれ すねえ 仲々死にきれない、持ち ずばだ すねから 脛 すねから だまい がよい ずはだ ずはだ ずながなら しまどじょう ずねくね でずぐずするさま すっぱね(つ参照) しまどじょう ずねめぐ すねから だまい かよい がよい ずはだ ずばだ すねから からいも すながない おも でずぐずするさま すっぱね(つ参照) しまどじょう ではしょり(からの臭いがする) ですべきれない、持ち ずばだ でり おしゃれ すねから だまい かられない、持ち ずばだ ですながなら からいも すばらぐ すばらぐ すばらぐ また しまどじょう からいも からいも からいも すびらぐ からに入って蘇 すっぱね(つ参照) からいり からいり からいり からいり からいり からいり からいり からいり	しえ(し参照) 外の気の臭いがする すにげえり 生する にがえり なまけるさま、しなやか すっぱさみ(つもで) をさしい すにすにどやむ に病む すばず(/) 程度を越して大きい すねえ すねん	しいな(批) ずなり なり行きに任せる、その すばぐら(つ参照) 日当りのところ すにげえり 生する かよい すっぱしょり(シション・マンション・アンシーン・マンション・アン・マンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・アンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・マンシーン・アンシーン・	すなもの 品物、男女の性器 すばらぐ するな	けや まいも まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すばこりえ(し参照) 外の気の臭いがする すにげえり なまけるさま、しなやか すっぱしより(シを照) 外の気の臭いがする すにげえり 生する たり行きに任せる、その すばぐら(つをでり おしゃれ すねえ すねがら 監終 すると すない すねんな がよい 持ち ずばだ すねがら がよい すねしゃれ すねから がよい ずねめぐ すねがら がよい すばだ ずねがら がよい すばだ ずねめぐ すばずく すばがく すばがく すばがく すながより からいも するさま すっぱね(つ参照) しまどじょう すねがら がよい おも 自然のいも すばだ ずはだ ずねらぐ すねがら がよい おも 自然のいも すばらぐ すばらぐ すねらく すねらく すばがら がよい からい すばだ がよい からい すない するさま すっぱね(つ参照) からい からい もん からい からい もん からい すない からい すない するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱね(つ参照) するさま すっぱん できに するさま すっぱね(つ参照) すると してはいけない すると してはいけない まま できる はんしゃん するさま しなやか すっぱらぐ するがよい はん しょうに しょうに しゃん しょく	すが通る すなべる すべる すばに すばに すばに すが通る すないる すべる すばに すばに すが通る すないる すべる すばに すが通る すないる すべる すがしまりに するな すなりずなり なまけるさま、しなやか すっぱこみ(つぬするなり) 中をしい すなりずなり なまけるさま、しなやか すっぱこみ(つぬやこし) 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる 中を起して大きい すにげえり 上生しる 上生しる で死にそう すばず(し参照) 中のところ すねから 座の を性の病気で死にそう すばずぐ すながら ですが通い、切れ難い すねから がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がよい がまが がま	相撲勝負前のけいこ すなびる 乾いて小さくなる すば すが通る すなびる 乾いて小さくなる すば すが通る すないも まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すば した(し参照) 物のくすぶる臭い すにずにどやむ に病む をきしい なりできに任せる、その すば でり おしゃれ ではったと すぬ(なねぇ、ね) 死ぬ をするま、したやか すっぱしょり(でり おしゃれ すね) なり ではでがたり ではず(し参照) をきしい すね) では ではず(し参照) でり おしゃれ すね) でも でがよい、持ち すばず(し参照) ですは ですながよい では では では ですながよい ですながよい では では では では ですな ですな	上産の混血鶏 すなびける ちぢむ すのは すが通る すなびる 乾いて小さくなる すば すなが通る すながる すながる すながる すなが であいて小さくなる すば であいな (社) まぬけ野郎 すなもの 品物、男女の性器 すば でもしいな (社) すなもの 品物、男女の性器 すば でもしいな (社) では では でもしい でもしい では でもしい では でもしい でもしい では でもしい でもしい では でもしゃれ でもしい では でもしょどじょう では でもしい では でもしょどじょう では でも他の病気で死にそう ではず(こを照) でもしゃれ では でもしょい では では でもしょど では では でもしょど では では でもしょど では では では では では では では で

ずべら ずぼら、なげやりずたっとまげる 平然としているさま
すべさがり 目尻下がり、又その人
物知り
"
4
すべらぐる /
さま、氷滑りするするするするして歩きにくい
すべぇこだつ 火の気のない炬燵
すっぱい
芝居
"
しよう
わら製のスリッパー
水風呂
図太い
すぶくれる。ふてくされる

すめえ	すめえ	すもう	するる	すみる(ねえ、	すんぱれ	すみっぱれ	すみどふ	すみでえ(つ参照)	すみ	すみずぐ	すみずぐ	すみす	すみえこ	ずみ	すまりかねえ	すまりする
しまえ	おしまい	"	しもう、水分が渗透する	だ)凍る	"	しもやけ	氷豆腐	脱) つめたい	炭俵	永住する	凍る	おむつ、しめす、水を含	末子	質素	しまりがない	始末をする・
ずらかす	すらが	すわり	すよびぎ	すよ(し参照)	ずもな	すもな	すもどり	すもごえ	すもぐ	すもえ	一ずる.	\$	すも	すめる	すめえゆわえ(か参照)	ずめえもず
ごまかす	しらが	(あまり塩けのないもの)	塩鱒、塩鮭	塩	(えねぇずも) (たん)	しまうな	角力とり	人糞尿	ひまどる、まだるい	下居、台所	という(くるずも)	霜、角力	下	温 める	か参照)刈上祝	自己負担
÷	すりぎゃぐど	すりおど	すらみたがり	すらみ(ま参照)	すらへる	ずらりまげる	すらばぐれる	すらねえふり	すらねえであ	すらねえ	ずらっと	ずらっと	すらちゃげる	すらすめつ	すらげる(し参照)	すらばぼ
ける。尾と荷鞍の中元を延し、他才に紀	つける。尾と荷鞍の中間根元を廻し、他方に結び横が前後に動揺する故、馬が坂道を歩くのに、荷馬が坂道を歩くのに、荷馬が坂道を歩くのに、荷馬が坂道を歩くのに、荷馬が坂道を歩くのに、荷馬が坂道を歩くのに、荷			風	知らせる	"	"	知らぬふり	知らないよ	知らない	平然と	面に	色があせて白くなる)ごま油	照)精白にする	自癬